



平成 20 年 12 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社高岳製作所  
代表者 取締役社長 尾崎 功  
(コード番号 6621)  
問合せ先責任者 取締役経理部長 松本真一  
(TEL 03-6371-5000)

### 特別損失計上及び税金費用減少による平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 10 月 23 日に公表しました平成 21 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 44,980	百万円 160	百万円 70	百万円 30	円 銭 0.28
今回発表予想 (B)	44,980	160	70	280	2.64
増減額 (B - A)	0	0	0	250	—
増減率 (%)	0	0	0	833.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	44,312	531	566	1,130	10.66

(2) 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 39,170	百万円 0	百万円 390	百万円 450	円 銭 4.24
今回発表予想 (B)	39,170	0	390	700	6.60
増減額 (B - A)	0	0	0	250	—
増減率 (%)	0	0	0	55.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	39,747	203	621	1,520	14.34

## 2. 特別損失計上の内容

昨今の経済は、米国に端を発した金融危機が世界的に深刻化し、企業業績が悪化、設備投資が減速し、景気の後退が鮮明になってきました。

このような情勢の中、半導体業界における市場競争はますます激化しており、マスク検査装置の新製品の開発・販売が非常に困難な状況となっています。

このため、当社は新製品開発・販売用の棚卸資産約 9.7 億円とそれに使用する設備約 1.7 億円を廃棄することとし、特別損失を計上いたします。

なお、当期純利益への影響額は約 6.8 億円の損失となります。

## 3. 税金費用減少の内容

当社は、平成 19 年 6 月に旧名古屋事業所東工場が収用されたことに伴い取得した土地の圧縮記帳の可否について照会をしていました。

今回、課税当局から土地の圧縮記帳について適用が確実であるとの確認が取れたため、平成 20 年 3 月期に計上した繰延税金負債を取崩すことにより、法人税等調整額は約 9.3 億円減少いたします。

## 4. 業績に与える影響

現時点での、連結および個別の売上高、営業利益、経常利益に修正はありません。

連結および個別の当期純利益については、特別損失による減少はあるものの、税金費用の減少による利益の増加により約 2.5 億円の増加となる見込みです。

以 上